

技術評価報告書

申込者： JFE 条鋼株式会社 代表取締役社長 渡邊 誠
東京都港区新橋五丁目 11 番 3 号

技術名称： ネジプレート定着工法

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2016年9月23日付けの技術評価書(SABTEC 評価 12-01R3)の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2016年9月23日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
代表理事 益尾 潔

建築構造技術審議委員会

委員長	窪田 敏行	近畿大学	名誉教授
委員	岸本 一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	菅野 俊介	広島大学	名誉教授
〃	田才 晃	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	教授
〃	勅使川原正臣	名古屋大学大学院環境学研究科	教授
〃	丸田 誠	島根大学大学院総合理工学研究科	教授
〃	三谷 勲	神戸大学	名誉教授

ネジプレート定着工法 専門部会

主査	丸田 誠	島根大学大学院総合理工学研究科	教授
委員	三谷 勲	神戸大学	名誉教授



技術評価書

申込者：JFE条鋼株式会社 代表取締役社長 渡邊 誠
東京都港区新橋五丁目 11 番 3 号

技術名称：ネジプレート定着工法

技術概要： 本工法は、GBRC 性能証明 第 07-18 号 改 2(2011 年 6 月 1 日)取得後、下記のように、SABTEC 技術評価を取得している。
SABTEC 技術評価 12-01(2012 年 5 月 22 日)、12-01R1(2013 年 11 月 27 日)
12-01R2(2015 年 5 月 29 日)
今回の技術評価は、鉄筋鋼種 SD295A~SD490 の呼び名 D13, D16 と組み合わせるネジプレートを適用範囲に追加するとともに、「設計指針(2015 年)」発刊後に判明した点が改定された「設計指針(2016 年)」の妥当性について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2016 年 9 月 23 日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

- 評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
ネジプレート定着工法 設計指針(2016 年)および説明資料
この資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。この資料のほかに、同工法 標準製造・施工要領書および関連資料が提出されている。
- 評価内容： 申込者提案のネジプレートは、鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷せず、本工法設計指針によって設計されるネジプレートを用いた異形鉄筋定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。

技術評価内容

申込者

J F E 条鋼株式会社
代表取締役社長 渡邊 誠
東京都港区新橋五丁目 11 番 3 号

技術名称

ネジプレート定着工法

適用範囲

- (1) 建築物の構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、柱 RC 梁 S 混合構造、柱 SRC 梁 S 混合構造、プレストレストコンクリート造、およびそれらのプレキャストコンクリート造
- (2) 使用材料 「コンクリートの設計基準強度」
 - 高強度 RC 柱梁接合部編以外の場合： 21 N/mm² 以上かつ 60 N/mm² 以下
 - 高強度 RC 柱梁接合部編の場合： 45 N/mm² 以上かつ 120 N/mm² 以下「鉄 筋」
 - 普通強度鉄筋ネジバー (種類) SD295A、SD345、SD390、SD490
(呼び名) D13～D41
 - 高強度鉄筋ハイテンネジバー (種類) USD590B、USD685A、USD685B
(呼び名) D32, D35, D38, D41「ネジプレートの材質」
 - 普通強度鉄筋ネジバーD13, D16 用：
ロストワックス製法熱処理炭素鋼 SJ45P
 - 普通強度鉄筋ネジバーおよび高強度鉄筋ハイテンネジバーD19～D41 用：
FCAD1200-2 (JIS G 5503：オーステンパ球状黒鉛鉄品)
- (3) 適用箇所 柱梁接合部への大梁主筋の定着、柱梁接合部および基礎への柱主筋の定着、梁への梁主筋の定着、柱、梁および壁への壁筋の定着、梁への小梁主筋およびスラブ筋の定着、アンカーボルトの定着

技術評価に際して行われた実験等の概要

今回の技術評価で適用範囲に追加された普通強度鉄筋ネジバーD13, D16 用ネジプレート (材質：ロストワックス製法熱処理炭素鋼 SJ45P)は、下記の3項目の試験によって、目標性能達成の妥当性を確認している。

- 1) SD490/D13, D16 ネジプレート予備試験
- 2) SD490/D16 ネジプレート強度確認試験
- 3) SD490/D16 ネジプレート嵌合長さ確認試験

技術評価の主な審議事項

技術評価に際し、建築構造技術審議委員会での主な審議事項は、以下の通りである。

- 1) 適用範囲に追加された普通強度鉄筋ネジバーD13, D16 用ネジプレートの妥当性
- 2) 設計指針(2016年)において修正された箇所の妥当性

技術評価の経過

2016年7月26日開催の第26回建築構造技術審議委員会(以下、本委員会と略記する)において、申込者提出の技術資料について検討し、詳細検討は、専門部会を設けて行うこととした。専門部会では、本委員会での指摘事項を踏まえて修正された技術資料について、慎重に審議を行い、結果を2016年9月23日開催の第27回建築構造技術審議委員会に報告した。

建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料について慎重に審議を行い、本技術は妥当なものであると判断した。

以上